

東京都大田区立「大森ふるさとの浜辺公園」の利用特性に関する研究
ービーチイベントに着目してー

日本大学 学生会員 ○松岡七海 日本大学 正会員 岡田智秀 日本大学 非会員 寺尾光優

1. 研究目的; “大森ふるさとの浜辺公園” (図 1, 以下「ふるはま」) は、東京都大田区大森地区に立地する都市公園である。当該公園の整備は、区立ゆえに関係機関である国や東京都との調整に 10 年間が必要とされ、この間地域住民と行政、専門家の三者協働により、調整会議や公園利用計画等のワークショップが行われた。さらにこれらの工事費用の約 70 億円は区の自主財源は一切使用せず事業を遂行した。このようにして区立としては都内初の人工海浜として誕生してから 10 年が経過し、その間地域住民や行政を中心に様々なイベントが展開され、賑わいを呼ぶに至っている。そこで本稿では、都市部における人工海浜の利用特性を捉えるため、当施設にて官民連携の中で行われている多様なビーチイベントに着目し、その取り組みの特徴について明らかにする。

2. 研究方法; 本稿では表 1 に示す調査を実施した。

3. 結果および考察; 表 2 は「ふるはま」開園後およそ 10 年間のうち半分に値する直近 5 年間で行われているイベント全 44 件のうち、主に砂浜・船着場・海域が利用されているビーチイベント 22 件の開催状況を運営主体や場所ごとに示したものであり、これらのうち海域利用が複数回なされたイベントの活動圏域を図 1 に示した。また表 3 は、羽田ビーチクラブおよび大田区カヌー協会によるイベント実施主体の見解を示したものである。これらより、「ふるはま」における以下の 5 つの利用特性を捉えた。

表 1 調査概要 [筆者作成]

調査項目	実施日	対象	目的
文献調査	平成 30 年 6 月 1 日 (金) ~ 平成 31 年 1 月 7 日 (月)	当該公園でのイベントに関する Web サイトおよび大田区にて発行されているパンフレット	当該公園の施設概要やイベントの開催状況などを把握するため
現地調査	平成 30 年 6 月 25 日 (月) 平成 30 年 7 月 15 日 (日) 平成 30 年 12 月 16 日 (日) 平成 30 年 10 月 28 日 (日)	現地踏査による利用実態・施設配置 羽田ビーチクラブ 7 月および 12 月の定例会 ふるはままつり	当該公園の整備状況を把握するため イベント内容の把握
ヒアリング調査	平成 30 年 12 月 21 日 (金)	櫻井政人氏 (羽田ビーチクラブ)	・ イベントの概要 ・ 活動場所の選定理由 ・ イベント参加者の満足度 ・ イベントを行う上で気を付けていること 以上 4 項目を把握するため
	平成 31 年 1 月 8 日 (火)	嶋島千文氏 (一般社団法人大田観光会) 高橋義人氏 (大田区カヌー協会)	
	平成 30 年 12 月 17 日 (月)	・ 大田区スポーツ推進課 ・ 大田区都市基盤整備第一課 ・ 大田区広報広聴課 ・ 大田区地域力推進課 ・ 大田区都市計画課 ・ ふるはままつり実行委員会事務局 ・ 公益財団法人日本バレーボール協会 ・ 公益財団法人東京バレーボール協会 ・ しながわ水辺の観光フェスタ実行委員会 ・ 日本海洋少年団連盟 ・ 東京都高体連男子部 ・ アースフレンズ東京 Z ・ OTA ふれあいフェスタ実行委員会文化振興課 ・ 川崎市経済労働局産業振興部観光プロモーション推進課 ・ 杉並海洋少年団	イベントの概要を把握するため
	平成 31 年 1 月 18 日 (金)	・ 杉並海洋少年団	

(1) 多様性; 表 2 より、直近 5 年間で行われたビーチイベントは 22 件全 282 回であり、海域で行われているイベントは 19 件でこれは砂浜と同数である。これらの運営主体は 7 団体であり、大田区は全 44 回、ボランティア団体である羽田ビーチクラブは 60 回、さらに一般社団法人である大田観光協会はそれらを上回る全 170 回と相当数に上るイベントを主催している。この中でも特に、直近で 5 年以上継続しているイベントは約半数の 10 件に上り、参加者からの定評が継続理由の一つという。これらは、ビーチテニスやクルーズといったレクリエーションとして行われるイベントのほか、環境教育やジュニアスポーツ育成を目的としたイベントもみられ、多岐にわたるビーチアクティビティを創出している。

(2) 地縁性; 表 3 より、現場にて最も継続的に活動を主導しているのは、地域住民により組織された任意団体の「大田区カヌー協会」と「羽田ビーチクラブ」である。これらの団体は、海に親しみを抱いてほしいとの想いからイベントを実施しており、こうした活動は、当施設の維持・管理を行っている大田区へ公園利用に関する提案を行うといった官民連携の中で展開されている。また、海域での活動時には地域住民間による情報交換により海

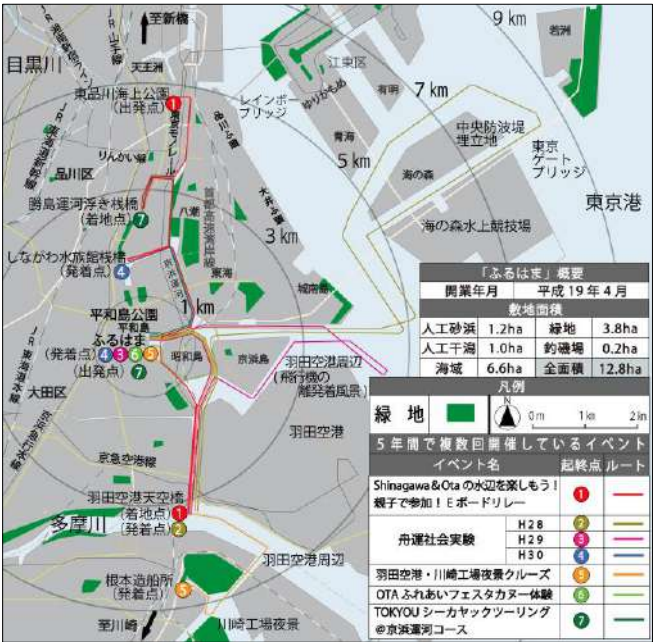


図 1 位置図およびビーチイベントの活動圏域 [筆者作成]

キーワード 大森ふるさとの浜辺公園, 人工海浜, 都市公園, 利用特性, ビーチイベント
連絡先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14 日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室 TEL03-3259-0484

域の安全に配慮できること、さらに造成以前は漁師であった地域住民がイベント参加者に当時の様子を物語るといったボランティア活動もある。このように地域住民が参加者と交流し、活動を通じて子供達へ歴史を発信するなど、「ふるはま」はコミュニティ創出の場として豊かな地縁性を育んでいる人工海浜公園であると評価できよう。

(3) 市街地近接性；これらの活動は「ふるはま」が都市部に位置していることから安近短という特徴を備えているほか、海域のイベントでは“モノレール”や“競馬場”といった成熟した都市景観を楽しみながらイベントに参加できることがその魅力の一つとされる。

(4) アクセス性；表2のように砂浜から海域へと活動範囲を幅広く利用するマリンスポーツやクルーズ等においては、内陸の公園のように利用圏域が陸側のみに限定されず、海陸双方向からのアクセスを可能としている。

(5) 拠点性；図1より、「ふるはま」を拠点として海域を利用するイベントは、最も遠いもので「東京都舟運社会実験」の約9km沖合に及ぶ。また、「Shinagawa&Otaの水辺を楽しもう！親子で参加！Eボートリレー」や「羽田空港・川崎工場夜景クルーズ」、「TOKYO シーカヤックツーリング@京浜運河コース」は、水辺の活性化事業として隣接する市区と連携して活動を行っている。特に川崎市との連携により実施される「羽田空港・川崎工場夜景クルーズ」は、昨年度の成功を機に本年度は運行本数・料金ともに増加した。これらは「ふるはま」が内陸市街地と沖合の活動をつなぐ拠点的空間として機能しているという“ふるはま効果”によるものといえよう。

表2 直近5年間におけるビーチイベント開催状況 [筆者作成]

主体	No.	イベント名	イベント開催場所とビーチイベント内容				継続年数と年度ごとの開催回数					合計
			砂浜	船着き場	海域		H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	
市区	①	1 羽田空港・川崎工場夜景クルーズ	←	発着点	ふるはま羽田空港沖～川崎工場夜景～根本乗船所を巡る					1	1	2
	2	2 大森地区リダー講習会(小学生対象)	←		ウォークラリー					1	1	2
	3	3 京急スポーツフェスタ男女ミックス4人制ビーチバレーボール大会(旧大森ふるはまビーチバレーボール大会)	←		ビーチバレーボール					1	1	2
	4	4 Sunset BEACH YOGA	←		ビーチヨガ体験						3	3
	5	5 1 DAY エンジョイプラン	←		ビーチ健康体操・ビーチストレッチ						3	3
	6	6 大田区合同水防訓練	←	発着点	水難者救出演習		1	1	1	1	1	5
	7	7 大田区舟運社会実験	←	発着点	クルーズ				4	5	1	10
	8	8 大田区民スポーツまつり	←		カヌー体験・準備運動など		1	1	1	1	1	5
	9	9 トップアスリート等派遣事業臨海部でカヌー体験	←		カヌー体験				1			1
	10	10 OTAふれあいフェスタ	←		カヌー&カヤックのデモンストレーションなど		2	2	2	2	2	10
任意団体	11	11 OTAふれあいフェスタ～カヌー体験	←		カヌー体験・準備運動・バドミントンの練習など		1	1	1	1	1	5
	12	12 TOKYO CANOE FESTIVAL in OTA	←		カヌー体験・準備運動・バドミントンの練習など		2	2	2	2	2	10
	13	13 大森ふるはまの浜辺に思いを込めて、船着場、大森東水辺スポーツ広場 完成記念イベント	←	発着点	シーカヤック練習&Eボートドリレー練習					1		1
	14	14 シーカヤックスクール	←		カヌー体験・準備運動など		10	17	21	18	18	84
	15	15 ジュニアカヌー教室	←		カヌー体験・準備運動・バドミントンの練習など		6	6	6	5	5	28
	16	16 親子カヌー教室	←		カヌー体験・準備運動・バドミントンの練習など		4	12	9	6	4	35
	17	17 TOKYOシーカヤック・ツーリング@京浜運河コース	←		カヌー体験・準備運動など		2	1	1			4
	18	18 Shinagawa&Otaの水辺を楽しもう！親子で参加Eボートリレー	←		カヌー体験・準備運動など		1	1	1			3
	19	19 羽田ビーチクラブ定例会	←	発着点	ビーチサンダル飛ばし・シャボン玉・ビーチテニス		12	12	12	12	12	60
	20	20 YOGA CAMP	←		ビーチヨガ					1		1
	21	21 日本海洋少年団東京地区連盟地区大会	←		開会式、手旗、ロープ競走						3	3
	22	22 しながわ・おたの水辺の観光フェスタ	←	発着点	ワールドライブラリー・音楽ライブなど					2		2
合計			19	6	19		43	57	63	60	59	282

【凡例】①：川崎市と大田区、②：大田区、③：大田観光協会、④：羽田ビーチクラブ、⑤：日本サップヨガ協会、⑥：東京地区連盟、⑦：しながわ・おたの水辺の観光フェスタ実行委員会、

■：本文記載事項、↔：活動範囲、⇄：実施期間（矢印中の数字は実施回数）

以上より、「ふるはま」は多種多様なビーチアクティビティを生み出す人工海浜として、新たな区立公園のあり方を提示していると認識する。

謝辞；本調査にご協力いただいた羽田ビーチクラブ 櫻井政人氏、大田観光協会 鳴島千文氏、大田区カヌー協会 事務局 高橋義人氏およびその他の各団体の皆さまに厚く御礼申し上げます。

参考文献；1) 大田区 HP, <https://www.city.ota.tokyo.jp> (最終閲覧日：2019.1.7) / 2) 大田区役所スポーツ推進課：「1 Day ヨガ」(パンフレット)、2018 受領 / 3) 大田区役所スポーツ推進課：「ふるはま BEACH ヨガ」(パンフレット)、2018 受領 / 4) 大田区役所スポーツ推進課：「YOGA CAMP」(パンフレット)、2018 受領

表3 ビーチイベント実施主体の見解 [筆者作成]

項目	大田区カヌー協会	羽田ビーチクラブ
設立年	平成 22 年	平成 19 年
運営形態	官民一体型	官民一体型
集客力	活動内容は季節を問わないため、年間を通して参加者がいる	
砂浜・海を活動場所に選んだ理由	【立地特性】 1. 海の様々な活用法を広めるため 2. アクティビティを行いやすい 3. 季節により環境変化が楽しめる 4. 準備運動やバドミントン練習、生物観察を行った後実際に海に出るというサイクルは砂浜ならではである 【活動目的】 多岐にわたる遊び方が生まれる	【立地特性】 1. 海水浴のみに限らず、気軽に親しめる場所であることを広めるため 2. 海辺でよく活用するの、また自然環境の中で安全性を考慮しルールを守れば楽しい場所であるという認識を持たせ、最大限楽しむということを継承していくため 3. 潮風を感じながら雰囲気を楽しめる 【活動目的】 グループを超えコミュニティを生み出す場として砂浜や海の遊びの幅を広げ、付加価値を上げるため
「ふるはま」の特徴	【管理形態】 区立という地区別レベルでやっていること 【立地特徴】 都内というロケーションで安近短 【ニーズ】 大自然でやるという固定概念を逆手に取り、都心的要素を楽しみながら、活動できること 【地域の特徴】 1. 海上は危険が伴うためコースをたてる際は地元民の海に精通した人たちが情報提供をしてもいい安全に行うなど地域で育ててきた部分があること 2. 地元民により季節の様子を聞かせてくれる	【管理形態】 都内には少ない区立であることから、その活用方法を指定管理ではなく官民一体型で外部の意見も取り入れていること  シーカヤック体験
参加者	【属性】 1. リピーターおよびその口コミ効果 2. 川崎や品川等の区外 3. プロの選手 4. 漁師として海で活躍していた人々 【評価】 1. 子供が気軽に来ることができる 2. 子供きっかけで始め、次回は親子向けや成人向けのイベントに改めて参加する人 3. 幼少期に参加していた子供が大人になった際イベントのお手伝いに来てくれる	【属性】 1. リピーター 2. 新規  ビーチテニス体験
「ふるはま」の実態	利用者が増加し都内で唯一砂浜あり気軽に海に親しむことができる場所として広まった	利用者が増加し2020年4月にプロ選手用の合宿がはかれるなど話題性がある場所となった
展望	1. 海で1人アドベンチャーしてもらいたい 2. 育った人材が帰郷して活動を行ってほしい 3. 「ふるはま」には売店等の施設もあるのでイベントを行った後、食事をし、また活動しに行くという連携体制をとること	1. 「ふるはま」の知名度を上げたい 2. 海辺での活動は楽しいということを広めたい 3. 区立という利点を生かし5年10年後先を見据え地域で海辺を盛り上げ、区民が必ずなく区外の方にも利用してもらいたい 4. 「ふるはま」に来ること、地元の商店街や飲食店などに経済が回る仕組み作り